

令和7年10月1日

保険薬局 各位

一般社団法人青森県薬剤師会
会長 白滝 貴子

健康サポート薬局「技能習得型」研修会のご案内

会員の皆様には、平素より当会の会務に対しご協力をいただき御礼申し上げます。

さて、「健康サポート薬局」制度が厚生労働省告示第29号により、平成28年4月1日より施行されました。「健康サポート薬局」は医薬品医療機器等法（薬機法）に位置づけられ、薬局の業務体制や設備において一定の基準（厚生労働省告示）に適合している薬局は保健所設置者に届出ができます。

この基準の一つに「相談対応や関係機関への紹介に関する研修を終了した薬剤師が常駐」とされています。「健康サポート薬局に係る研修実施要綱について」の通知では、eラーニングによる知識習得型研修22時間＋技能習得型研修8時間となっています。

このうち技能習得型研修8時間を令和7年10月26日(日)に下記要項により開催いたします。

この研修は、国が定める研修実施機関（公社）日本薬剤師会の研修協力機関として、（一社）青森県薬剤師会が行うものです。

なお、日本薬剤師会で実施している知識習得型研修のeラーニングにつきましては、随時申込みにより受講できますので、まだ受講されていない方は、技能習得型研修の受講前に受講を済ませておくことをお勧めします。

また、研修会Bの内容をより理解するために、事前に①日本薬剤師会が提供する「健康サポート薬局研修eラーニング」のコンテンツ（2020改訂版）のうち、要指導医薬品等概説の研修項目、特に、「臨床判断の考え方と疾患の推測（総論）」（60分程度）「要指導医薬品・一般用医薬品販売における基本姿勢」「セルフメディケーション支援のための薬局での対応・一般用医薬品等の選択」（いずれも120分程度）を受講しておく。②実際のOTC医薬品の添付文書について、どのような記載内容があるか確認しておく（1～2例で可）。③自薬局で取り扱いのあるOTC医薬品のうち、鼻水の症状に適応のある品目のリストを作成し、研修会当日持参されることを推奨いたします。

また、この研修会は、地域連携薬局の基準（抜粋）第8号関係「八 当該薬局に常勤として勤務している薬剤師の半数以上が、地域包括ケアシステムに関する研修を修了したものであること」の研修のひとつにあたります。

すでに「研修修了証」の交付を受けた方は、有効期限内に【研修の再受講】と【更新申請手続き】が必要です。自身の有効期限を確認し「期限2年前」以降の初回の研修会Aを受講してください。詳細は、青森県薬剤師会ホームページの健康サポート薬局からご確認ください。

健康サポート薬局「技能習得型」研修会開催要項

○日時：令和7年10月26日(日) 9時30分～18時45分 (昼食は各自ご用意ください)

○会場：青森県薬剤師会館 3階 研修室

青森市浪打1丁目16-17 TEL 017-742-8821

※駐車場は収容台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

○内容：青森県薬剤師会ホームページに掲載しています。

○受講料：研修会 A『健康サポートのための多職種連携研修会』

1 万円（ただし、青森県薬剤師会会員は会より半額助成のため 5 千円）

研修会 B『健康サポートのための薬剤師の対応研修会』

1 万円（ただし、青森県薬剤師会会員は会より半額助成のため 5 千円）

受講料支払方法は、WEB サイト（イベントペイシステム）を利用してのみとなります。そのシステム利用料として 220 円いただきます。また、受講証明書を後日郵送いたしますので、郵送料として 350 円いただきます。

※参加申込書を FAX 後、下記の方法で受講料のお支払いをお願いいたします。

青森県薬剤師会ホームページ → 健康サポート薬局 → 技能習得型研修会のご案内 →

イベントペイをクリックしてください。

令和 7 年度健康サポート薬局技能習得型研修会参加申込書

令和 7 年 月 日

私は健康サポート薬局の基準について理解の上、技能習得型研修の受講を申し込みます。

氏 名	
薬剤師番号	
薬 局 名	
電話番号	
F A X 番 号	

該当する項目を○で囲み下線部は数字を記載してください。

① 受講を希望する研修 A 研修のみ B 研修のみ A B 両方
② かかりつけ薬剤師の東北厚生局への届出 あり なし
③ 過去 1 年間における在宅の実績 あり なし
④ 健康サポート薬局の届出について 既に届出済 届出予定 届出の予定はない 貴薬局の届け出予定時期 令和 _____ 年 _____ 月頃
⑤ 地域連携薬局認定申請の意向 あり なし
⑥ 知識習得型 e ラーニングの受講について 受講済み これから受講予定
⑦ 研修受講希望薬剤師の実務経験 _____ 年 (常駐する薬剤師の要件として 5 年以上の薬局での実務経験が必要です。)

申込み締め切り 令和 7 年 1 0 月 1 4 日（火）

ファクス送信先 （一社）青森県薬剤師会 FAX 017-743-4452

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のためのお願い

○受講当日の体調をご確認の上、お越してください。発熱・咳等の症状がみられる方は、参加をお控えください。

○受付時の検温実施、手指消毒にご協力ください。研修中のマスク着用、咳エチケット、手洗いの徹底をお願い致します。

○換気のため会場出入口を開放する場合がありますので、寒さ対策をお願い致します。

○筆記用具はご持参ください。

～ 健康サポート薬局研修 ～
健康サポートのための多職種連携研修会【研修会 A】
次第

日時：令和 7 年 10 月 26 日（日）9：30～14：15

場所：青森県薬剤師会館 3 階 研修室

主催：一般社団法人 青森県薬剤師会

共催：公益社団法人 日本薬剤師会

開会挨拶（9：30～9：40）

青森県薬剤師会 会長 白滝 貴子

【研修会 A】自己評価表 受講前のチェック【5 分】

1. 健康サポート薬局の基本理念

（1）健康サポート薬局の基本理念（9：40～10：00【20 分】）

日本薬剤師会 会長 岩月 進、常務理事 村杉 紀明（DVD 講義）

（2）健康サポート薬局の理念：地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

「私たちが目指す健康サポート薬局の姿」（10：00～10：20【20 分】）

青森県薬剤師会 会長 白滝 貴子

（3）グループ討議：薬局が地域の資源とどのように繋がるか（10：20～10：40【20 分】）

青森県薬剤師会 副会長 坂井 義人

2. 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

（1）青森県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待（10:40～11:10【30 分】）

青森県健康医療福祉部医療業務課薬務指導グループ（依頼中）

青森県健康医療福祉部がん・生活習慣病対策課（依頼中）

（2）他職種等の取り組みについて～健康サポート薬局との連携を探る～

1）フレイルかな？～保険薬局で指導できる身体的フレイル対策～（11:10～11:30【20 分】）

青森県理学療法士会 会長 米田 良平 氏（依頼中）

2）市町村の健康課題と取組から考える健康サポート薬局との連携（11:30～11:50【20 分】）

青森県市町村保健師活動協議会 会長 三上 淨子 氏（依頼中）

（3）青森県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について（11:50～12:00【10 分】）

青森県薬剤師会 副会長 坂井 義人

（昼 食 12：00～12：35）

3. 演習（12：35～13：45【70 分】）

地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習

演習進行：青森県薬剤師会 副会長 坂井 義人

（1）ケーススタディ

（2）発表

（3）演習のまとめ（レポート作成）

4. まとめ（13：45～14：15【30 分】）

私たちの目指す健康サポート薬局の姿

青森県薬剤師会 副会長 坂井 義人

（1）グループ討議（健康をサポートする薬局として今私たちに何ができるか）

（2）発表

（3）まとめ（レポート作成）

（4）結び（クロージング）

～ 健康サポート薬局研修 ～
健康サポートのための薬剤師の対応研修会【研修会B】
次第

日時：令和7年10月26日（日）14時20分～18時45分

場所：青森県薬剤師会館 3階 研修室

主催 一般社団法人 青森県薬剤師会

共催 公益社団法人 日本薬剤師会

【研修会B】自己評価表 受講前のチェック【5分】

0. 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局（14：20～14：35【15分】）

青森県薬剤師会 常務理事 磯木 雄之輔

1. 一般用医薬品等を取り巻く現状（14：35～14：55【20分】）

日本薬剤師会 常務理事 岩月 進（DVD講義）

2. 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）（14：55～18：25【210分】）

講義、グループワーク等を通じ、薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握し、それに合わせた適切な対応を行う力を身につけます。

演習進行：青森県薬剤師会 常務理事 磯木 雄之輔

講師：日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会 委員長 亀山 貴康（DVD講義）※1

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門

准教授 亀井 大輔先生（DVD講義）※2

※1（2）以外の全てのパートを担当、※2（2）を担当

（1）導入とアイスブレイク

（2）薬剤師の臨床判断～需要者からの情報収集と症候学的な思考プロセス～

（3）適切な医薬品選択と提案のための情報収集とその考え方

（4）添付文書の伝え方～安全で有効な使用のために～

（5）販売時と販売後の対応

（6）演習のまとめ

3. まとめ（18：25～18：30【5分】）

青森県薬剤師会 常務理事 磯木 雄之輔

4. レポート作成（18：30～18：45【15分】）